

入居企業紹介

その51

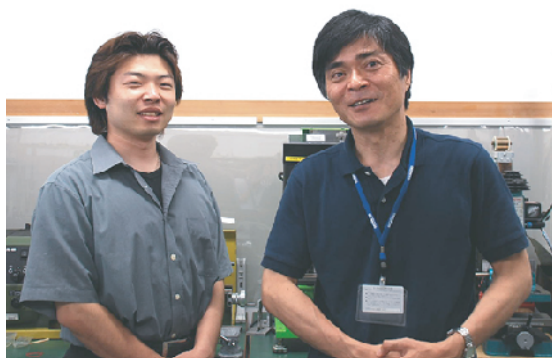
毎月、SICに入居された企業をご紹介します。

SIC-2 404

株式会社 青電舎

今年4月、SIC2号館404号室に入居された「株式会社青電舎」さんをご紹介します。

『静電エンコーダ』って？



左から 岩淵さん

榎藤社長

■社長プロフィール

株式会社青電舎(せいでんしゃ) 代表取締役社長

榎藤 雅彦(ごんどう まさひこ)さん

1958年福岡県生まれ 奥様とお子様2人の4人家族。

趣味は、奥様と二人で北アルプスなどへの登山。毎年必ず登られるそうですが、年に2~3回は登りたいと仰っていました。

■起業しようと思ったきっかけは？

平成17年に「静電アクチュエータを用いたアクアリウム・ロボットの開発」で、東京大学 樋口教授と共に、科学技術振興機構の大学発ベンチャー創出推進プロジェクトに採択された事がきっかけです。

ただ、起業については、前の職場であるオリンパス(株)の時代から考えていました。

■一番苦労したことは？

アクアリウム・ロボット(さかなロボット)の事業化や静電気を使ってのインテリア商品やポスターの事業化も検討してきましたが、紆余曲折して静電エンコーダにたどり着きました。

一見、無駄な道のりだったようですが、いろんな経験がユニークな静電エンコーダの完成につながったと思っています。



さかなロボット

フィルム(静電アクチュエータ)で出来ています。



■事業紹介

リニア型・回転型静電エンコーダの製造・販売を基本としていきますが、他社との共同研究もやっていきます。現在、超小型位置センサーの開発依頼がきています。

《静電エンコーダとは》

モーターなどに取り付ける位置を検出するセンサーのひとつで、静電気的作用により距離を精度よく測定するセンサーの一種です。

紙のように薄く柔軟性のある静電エンコーダは、従来の光式エンコーダにない多くの特徴をもっています。

〈特徴〉.....

超薄型・小型: センサー部の厚さはわずか0.2mm

柔軟: 円周状に配置する事も可能

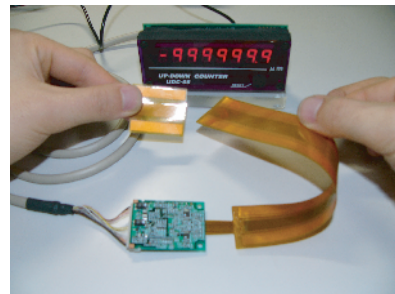
簡単な設置: 多少の角度ずれがあっても支障なく動作

低消費電力: 発光素子などが無いため、消費電力はほんのわずか。

高信頼性: スケール側から信号線を引き出すため、断線の危険性ゼロ。

静電エンコーダ

近々、サンプル商品として売り出します。



■今の夢または目標は？

静電エンコーダを世の中に広めてゆき、会社を大きくすること。

(株)青電舎の由来: 静電気+精密の技術をもとに、青年のごとく若々しい心でチャレンジし続け、新たな分野を切り開き、社会に貢献していく会社です。静電から「争」とって、皆さん楽しくやりましょうという願いもこもっています。

只今、人材を募集中!!

○一般事務(パート)

パソコン操作が出来る方で、サンプル商品の注文受付、簡単な検査、出荷業務などもあります。気軽にお声をかけて下さい。

連絡先: TEL: 042-770-9588

メール: gondo@seidensha.net

SICからのお知らせ

SIC 無料相談を実施しています。

本年度も、専門家による「SIC 無料相談」を実施しています。ご相談は何でもOKです。

- 事業計画・経営関連
- 財務関連
- 新製品・技術関連
- 営業関連
- 人事・労務関連
- デザイン関連
- 法務関連
- 人材・その他などなど。

「はてな？」…分からない事や、大丈夫だろうかと心配になったら、いつでも、スタッフまでお声を掛けてください。内容をお聞きしたうえで、専門家との日時を調整いたします。

●SIC ホームページから申込書をダウンロードできます。

SICの四季



カミキリムシ
日本だけでも 900 種類ほどいるらしい。名前を調べようと写真集を見ていたら気分が……だったので、調査は中止しました。ご存知の方は教えてください。
写真：SIC-2 裏駐車場にて。

カミキリムシ (中国語で「天牛」) :

生物学では、節足動物門・昆虫綱・コウチュウ目・カブトムシ亜目・ハムシ上科・カミキリムシ科に属する甲虫だそうです。甲虫の中でも飛び抜けた長さの触角と飛び抜けて発達した強い顎の力が特徴で、樹木や植物を食べる種類もいるため、農業や林業に従事する人たちにとっては天敵と言える存在です。ただ、昆虫食としては高い人気があるもよう。幼虫の時期が一番美味しいとされているとか、と言うことは、成虫も食べるのでしょうか!?!…



SIC 夏祭り

ご来場ありがとうございました。

7月17日(木)開催いたしました「SIC夏祭り」には、SIC スタッフを含め、100名を越えるご来場をいただきました。ありがとうございました。皆さま、お楽しみいただけましたでしょうか？

初めての屋外開催でしたので、空の顔をうかがいながらの準備となりましたが、皆さまのお陰で、好天のもと、開催することができました。

出展いただいた企業の皆さま、ご協力ありがとうございました。また、差入れなども沢山いただき、心からお礼申し上げます。



出展した方々のオフィスでの姿とは、また違った本来の(?)姿が垣間見えたような気がいたします。SIC スタッフもしかり。次回の餅つきもお楽しみに!

出展：チャパティ (バイスバイデザイン)、牛タンの丸焼き (青電舎)、冷麺 (テクニカルエンジニアリングサポート)、餃子 (ジェネレックス)、芋煮 (サンマルコ)、カレー・バーベキュー・焼そば (SIC)

2008年8月

【今月の経営スケジュール (参考)】

経理：7月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

日	月	火	水	木	金	土
27	28 ジュニアアントレ 1日目	29 ジュニアアントレ 2日目	30 ジュニアアントレ 3日目	31	1 ジュニアアントレ 4日目	2 経営塾 ジュニアアントレ 5日 (最終日)
3	4	5	6 SIC-2 窓ガラス清掃 子どもアントレ 1日目	7 SIC-2 空気環境測定	8 子どもアントレ 2日目	9 子どもアントレ 3日目
10 子どもアントレ 4日目 (最終日)	11	12	13 *SIC-1 エレベーター点検	14	15	16
17	18	19	20	21	22 職場リーダー 養成塾開塾	23 職場リーダー 養成塾
24 31	25	26	27	28	29	30

* エレベーター点検 SIC-1 11:00~12:00 の間はご利用になれません。お問い合わせは 生井 (内線 1116) まで

青山学院大学 理工学部
情報テクノロジー学科
水澤研究室
教授 水澤 純一氏



水澤教授と愛犬エナ

NTTに1967年から1999年まで勤めた経験を生かして、光ファイバ通信や光部品の研究を行っています。

研究室には開発中の実験ネットワークAPN2が稼働中で、市販のハイビジョンビデオカメラで撮影した画像をリアルタイムで伝送している様子をご覧ください。

光ファイバを利用した高精細画像の放送ネットワークをローカルに構築することができるネットワーク技術で、企業内や工場、行政区域管内で利用していただける組織を探しています。

APN2は関東総務局の支援(SCOPE)を受けて開発しました。SCOPEへの提案は、「地域社会の安全・安心を守るためのネットワーク」として、小学生の登下校監視や病院での遠隔医療で、将来利用することを提案しました。実用化段階にありますので、ご興味をお持ちの方からの連絡をお待ちしています。

本研究室では、南西フォーラム配下の青学ビジネスフォーラムの事務局も担当しています。青学ビジネスフォーラムは、2004年から年4回開催しており、毎回20から30名ほどの参加者があります。

2007年9月東京ビッグサイトで行われた
イノベーション JAPAN での
光ネットワーク展示風景



テーマは、当初、青山学院大学理工学部の先生方のお話を中心でしたが、最近は青学の先生と実社会の経験を組み合わせ合わせた内容が多くなっています。

ご興味をお持ちの方は、
mizu@it.aoyama.ac.jp
(水澤宛、FAX: 042-759-6495) にご連絡ください。
毎回の案内状をメールでお送りします。

青学ビジネスフォーラムを通じまして、町田商工会議所へ出入りする機会も増えました。また、町田市、相模原市の企業の方々とも交流させていただいております。町田の企業とはインターネットカメラを使った監視システムの開発に協力させていただきました。その折には特許申請資料の作成にも協力しました。そしてまた、町田商工会議所のメンバー企業と立体画像関連の商品開発にも協力させていただいております。

最近では、相模原市の産学連携プロジェクトに相模原市の企業と応募し、新しい技術開発に協力させていただく計画が着実に進んでいます。

今後も多くの地域企業の方々とは交流させていただき、お役に立ちたいと希望しております。お気軽にお声掛けをお願いします。

SICからのお知らせ

※本事業へのご協賛をいただけます様、宜しくお願い致します。



さがみはら子どもアントレプレナー体験事業 実行委員会からのご案内です。

今年も暑い夏がやってまいりました。毎年恒例の子どもアントレ、ジュニアアントレの季節です。今年も6月に参加募集を行い、多くのお申込みをいただきました。子どもアントレにおいては、約6倍の倍率となりました。

ジュニアアントレ(高校生・中学3年生対象)は7月28日より5日間の日程で既に始まっています。子どもアントレ(小学5・6年生・中学1年生)は8月6日より4日間の日程を予定しています。(表面のカレンダーを参照ください)

この日程の中で、子ども達は、会社設立から事業計画書作成、銀行との融資交渉、商品の製造、販売そして決算という一連の経営の疑似体験をいたします。

短い時間の中で製作した商品を、最終日に販売いたします。ご興味のある方は、是非、ご来場頂きたく、ご案内申し上げます。

《ジュニアアントレ》

日時: 8月2日(土) 午前10時~12時

場所: STATION SQUARE

(小田急線 相模大野駅 南北自由通路 改札出口正面)

《子どもアントレ》

日時: 8月10日(日) 午後10時~12時

場所: コーナン相模原西橋本店2階(SICの隣です)

尚、全ての当日の様子をSICホームページにてご報告させていただきます。どうぞ、ご覧頂き、販売当日にご期待ください。

お問合せは、上野(内線1114)、中村(内線2004)まで。

企業をサポートし隊!!

【シリーズ企画 企業支援の現場から・・・SIC アドバイザー】

見える化入門

第1回：なぜやるのか・何を見るか

中小企業診断士 若槻 直

●見える化をなぜやるのか

今回から3回シリーズで経営に「見える化」を応用する場合の基礎についてお話しさせていただきます。「見える化」は様々な内容を含んでいます。しかし効果を出すには「なぜやるのか」という目的を知ることが重要です。

見える化の定義はいくつかありますが、私は「視覚的コミュニケーション」と捉えています。「話せばわかる」ではなくて「話さなくてもわかる」ようにするのが見える化です。

コミュニケーションですから、これだけで会社は良くなりません。しかし組織運営でコミュニケーションは重要な要素です。日常業務や人材育成などはコミュニケーションが基盤になっていることは言うまでもないでしょう。経営者や社員全員が、その重要性を認識して取り組むことが効果を出す条件です。

●見える化で何を見るか

見える化の対象は広範囲ですが、次の5つに分類できます。

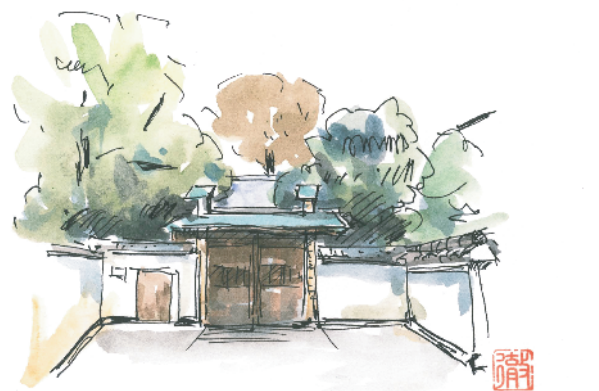
「経営の見える化」：経営方針や年度目標などが対象です。運転に例えると、目的地を示す地図や、現在位置を示すGPSに相当します。

「顧客の見える化」：お客様本人に直接会うこと、そしてそのニーズが見えるようにすることです。自動車の運転に例えれば、歩行者の動きを見ることに相当します。

「環境と業務の見える化」：日常業務の状況や手順が対象です。自動車では、操作対象のハンドルやスイッチが見えていること、交通法規が明文化されていることに該当します。

「心と知恵の見える化」：社員の力量や改善事例が対象です。自動車の運転では、運転者の経験や無事故歴などが見えることに相当するでしょう。

「課題と対策の見える化」：「経営」「顧客」「環境と業務」「心と知恵」に関する課題と対策を常に見えるようにし、社員が自主的に課題解決を進めるようにすることです。



JR矢部駅周辺の住宅
SICアドバイザー 権藤徹志さん画

山本のめし屋レポート

蕎亭 喜峰庵 (キョウテイ キホウアン)

町田街道から一本、橋本側に入った道にある蕎麦屋さん。

「そばがき」がある蕎麦屋さんです。

石臼自家製粉で、手打ちときたら、蕎麦好きは、絶対！行ってみようと思うに違いない。

ちなみに「うどん」も手打ちです。

それぞれ好みはありますが、十割蕎麦がおいしい。

カウンター席があったり、個室があったり、座敷もあって、

椅子席の宴会場もあります。

色々な「そば猪口」が飾ってあって、つい、写真撮影なぞ。。。



ちょっと橋本駅からは遠いけれど、是非一度お試しください。

秋の新蕎麦、ひきたて、打ちたて、茹でたてもまた、楽しみです。

天麩羅付きせいろ
¥1,750.-



十割、江戸前、更科の
三色蕎麦 ¥2,400.-
天麩羅なし ¥1,400.-



■住所 相模原市宮下本町 3-40-5 ■電話 042-774-8971 ■月曜定休
■営業時間 朝 10:00~昼 3:00 夕方 5:00~夜 9:00

編集後記

子どもアントレが始まっています。SICの夏です。SICの四季のひとつとなっていますが、センター自体には夏休みはありません。お盆も開いています。スタッフがそれぞれ交代で、夏休みを取りますので、夏休み（お盆頃）に予定の無い方、どうぞセンターへ遊びにいらしてください。電話も少なく、取り合えずエアコンも効いていて、意見交換に最適！ 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒229-1131 相模原市西橋本 5-4-21 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sssc.co.jp> E-mail: sic@sssc.co.jp